

# 風水害に備えましょう

土砂災害や河川の氾濫などの自然災害は、突然の大雨や降雨の長期化により、これからの季節に発生する可能性が高まります。近年は、局地的な豪雨や台風の大型化などもあり、土砂災害や洪水は、「いつ」「どこで」起こるか分かりません。あらゆる災害に備え、備蓄品の点検や補充、ハザードマップなどで避難所の場所や避難経路の確認を行い、日頃から防災について意識しましょう。

問い合わせ＝防災・危機管理課防災・危機管理担当（☎内線 415）



## 気象情報などを収集しましょう



テレビやラジオなどで大雨や降雨の長期化の予報が発表されたら、その後の気象情報に注意しましょう。テレビから提供されるデータ放送では、各地域の雨量や河川水位などの情報、市から発表する避難所の情報なども確認することができます。

## 避難情報などを収集しましょう

市では、災害の危険が迫ったときに避難指示などを発令して避難を呼びかけます。

また、多様な手段により防災情報を迅速・確実にお知らせするため「防災情報伝達システム」を運用しています。風水害に備え、ぜひ、防災アプリ「HAZARDON」をご利用ください。

### 災害情報の主な伝達手段

防災アプリ「HAZARDON」／桐生ふれあいメール／防災ラジオ／防災行政無線（屋外スピーカー、戸別受信機）／緊急速報メール／Lアラート（テレビのデータ放送など）／市ホームページ／広報車／自治組織／自主防災組織

## ハザードオン 防災アプリ「HAZARDON」の利用方法

### ① HAZARDON をダウンロードする



アプリストア検索から

二次元コードから



### ② アプリを起動し、位置情報と通知を許可する

### ③ 通知を受けたい地域を追加「群馬県」→「桐生市」

# いつ、どこへ避難したらよいか確認しましょう



スタート

ハザードマップで自宅の位置と近くの避難所を確認しましょう。



▲各種ハザードマップ

自宅がある場所に色が塗られていますか？

いいえ

原則、避難の必要はありませんが、危険だと感じたら早めに避難してください。

はい

災害の危険があるので、原則として、自宅以外の場所に避難が必要です。

例外

以下を全て満たす場合は、自宅での安全確保も可能です。

- ①洪水で家屋が倒壊・崩落してしまうおそれの高い区域ではない
- ②浸水する深さよりも高い場所にいる
- ③水・食料が十分にあり、水がひくまで生活できる

自分または一緒に避難する人は、避難に時間がかかりますか？

はい

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や友人・知人はいますか？

はい

**警戒レベル③**が出たら行動！

安全な親戚や知人宅に避難しましょう。

いいえ

**警戒レベル③**が出たら行動！

市指定の避難所に避難しましょう。

いいえ

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や友人・知人はいますか？

はい

**警戒レベル④**が出たら行動！

安全な親戚や知人宅に避難しましょう。

いいえ

**警戒レベル④**が出たら行動！

市指定の避難所に避難しましょう。

## 警戒レベル・避難情報

警戒レベル	状況	住民が取るべき行動	避難情報など
5	災害発生または切迫	命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保
~~~~~ 警戒レベル4までに必ず避難！ ~~~~~			
4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示
3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者などは避難	高齢者等避難
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨注意報（気象庁） 洪水注意報（気象庁）
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報（気象庁）